

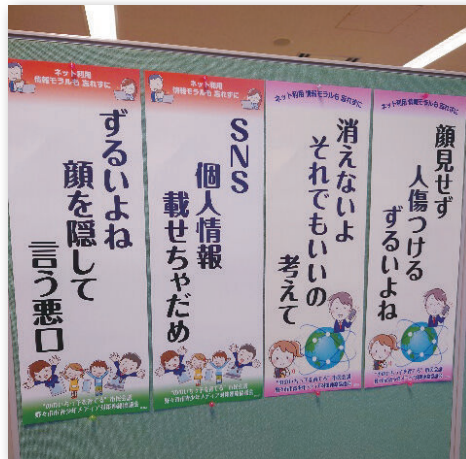
# 会報 “ののいちっ子”

令和4年3月31日

VOL.33



▲野々市小学校あいさつ運動



▲標語ポスター



▲青少年育成研修会



▲新のぼり旗

## 会長あいさつ

「ののいちっ子を育てる」市民会議

会長 北川 千里



平素は、ののいちっ子を育てる、市民会議の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

市民会議は発足より「青少年健全育成の推進」「地域の連帯感の醸成」「市民の実践力の向上」を目指し、あいさつ運動を昭和55年から市内全域で継続的に展開しております。

今年度も、多くの町内会や地域の方々にご賛同とご協力をいただき「愛と和 ののいち5万人あいさつ運動」の幅広い啓発を行いました。この活動に際してご支援いただいた事に対し深く感謝を申し上げます。

コロナ禍3年目になり、仕事や生活様式が大きく変化し、学校でもGIGAスクール構想が始まるなど、青少年を取り巻く環境が大きく変わっています。

また、令和4年度からは、未来を担う子どもたちを地域総がかりで育むために「コミュニティスクール（学校運営協議会制度）」が始まります。市民会議では、新しい時代を担う野々市市の大切な青少年が心豊かに素晴らしい大人になるように、地域や家庭、学校がそれぞれの特性を發揮し、多くの活動を通じる中で、今まで以上に連携・協力し、市民総参加による青少年の健全育成に取り組んで参りたいと存じます。

魅力ある地域が心豊かな青少年を育てていくと思っておりますので、関係各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。

# 『愛と和ののいち5万人 あいさつ運動』

## ○市内全域での継続的な取り組み

「あいさつ運動」は市民会議が中心となり昭和55年から市内全域で継続的に展開をしており、今年度で42年目の取り組みとなります。

## ○新のぼり旗の掲示

今年度はライオンズクラブ様より、新しくなった缶バッジに合わせた新しいのぼり旗を寄贈していただきました。

のぼり旗は運動期間中、各学校の正面玄関などで設置されました。また、この活動に賛同されご寄付をいただいた町内会や交番、消防署、公共施設にも設置していただき、運動期間中は市内の多くの場所で見られました。



## ○あいさつ運動標語ポスターの掲示

市内の小中学生があいさつをテーマに標語を作り、その中から選ばれたものを採用しています。このポスターは一学期と二学期の開始に合わせ市内の学校や公共施設などで掲示されました。

これからも市民会議は「あいさつ運動」を周知、啓発し、地域全体で子どもたちを見守る環境作りを行ってまいりますので皆様のお温かいご支援を宜しくお願いいたします。



## ○あいさつ運動文【館野小】

館野小学校では「明るくあいさつをし、なかよくしよう」を年間重点目標にして、あいさつの向上に取り組んでいます。

四月には、月目標を「元気にあいさつして なかよくなること」として「あいさつのサクラを咲かせよう！運動に取り組みました。自分から10人以上の人に会釈をしながらあいさつができれば、さくらの木にピンクのシールを貼る取り組みで、掲示してあるサクラの木が花びらで埋まっていく様子を見守る子どもたちにも嬉しそつに見ていました。



六月には「自分から元気よくあいさつをしよう」の目標の下、「目」「チェックシート」を用いて自分のあいさつをセルフチェックし、今の自分のあいさつを見つめました。児童は「自分からはできなかった」「明るいあいさつはできなかったな。これから明るい声であいさつを返そう。」等、自分の弱かったところを意識しながら、次の目標を設定することができていました。

十月には、「自分からきもちのよいあいさつをしよう」という月目標を設定しました。「自分から進んで」「アイコンタクト」「名前をよんで」をキーワードに取り組み、児童のあいさつが少しずつレベルアップしていくのが感じられました。

児童による、あいさつ向上の取り組みも行われました。生活委員会では「3・7・3（みなさん）あいさつ運動」とい



う取り組みを行いました。地域の人（③人以上）友達（⑦人以上）先生（③人以上）にあいさつをしようというものです。各クラスの結果を表したグラフ掲示の前で、児童は、自分のクラスの達成状況に一喜一憂していました。

昨年度に引き続き今年度も感染症予防のため、例年行われていた、全校児童や職員、地域の方による玄関前でのあいさつ運動を行うことができませんでした。しかし、学校全体での取り組みや、校長先生が率先して行っている朝のあいさつ指導により、明るい声であいさつする子、お辞儀をして礼儀正しくあいさつする子、マスク越しに笑顔であいさつする子が増えてきました。今後も学校では、「明るくあいさつをし、なかよくしよう」という目標に向けて、児童と職員と一緒に取り組んでいきます。そして、地域・保護者と連携して、明るいあいさつが飛び交う野々市市になるように今後とも取り組んでいきたいと思えます。



## 青少年育成研修会

開催日 7月17日(土)

テーマ スマホの長時間使用は何が悪いの？

講師 医学博士・眼科専門医 日本眼科学会評議員  
日本神経眼科学会評議員 鈴木武敏氏

会場 野々市市文化会館フォルテ・市内小中学校 (ZOOMを利用したオンライン研修会)

参加者数 100名



### ○スマホの二面性とゲーム障害

スマホには良い面と悪い面があって、その背景には家族との関わりがあります。これが薄くなると悪い面が強くなりバランスが崩れます。良い面だけを使いたい時は、使用時間を短くする方法しかありません。また、立体ゲーム機（ニンテンドー3DSなど）の説明書には6歳以下や13歳未満は使えないと書いてありますがスマホには年齢制限が無いので2歳未満でも自由に使えます。両目で見る能力は子どもの時にしか発達しません。両目がきちんと使われることによって立体感が生まれるので2、3歳頃からボール遊びをしていると野球などが上手くなります。スマホによる目の障害で平均台が渡れなくなったり、野球などの球技が下手になります。

### ○両目で見る機能の障害

大きな物を見てみると目がキョロキョロ動き、目が休まります。しかし、小さな画面だと視線が動かないので目は疲れます（長時間正座をして足が痺れるのと同じこと）。片目で見る方が楽なので片目で見る癖がつき、脳が片目を使わないと判断するようになります。

スマホや3Dゲームなどでは本当の立体感、遠近感が育たずスポーツ外傷や交通事故（衝突事故）に繋がる恐れがあります。

両眼視の発達期間は0〜3歳までなので外遊び（本当の立体視の中で遊んでいる）が良いです。視力の発達を考えスマホで発達を止めてはいけません。



### ○注意点

- ・画面を遠ざけること（30cm以上）
  - ・夜は出来るだけ使わないこと
- （特に睡眠前2時間は使用せず、のっティスタンドなどを利用し手の届く所に置かないようにする）

### ○研修会を終えて

一昨年、今年度とメディア機器が及ぼす健康被害について研修会を開きました。今後、市民会議ではメディア機器が子どもたちに与える影響について調査、研究していきます。

## 家庭のルール作り啓発「のっティスタンド」

市民会議は、各家庭でのルール作りがとても重要だと考え、今年度も市内全小学校1・3・5年生と市内保育園・こども園（4歳児）に加え、中学1年生を対象に児童・生徒及びその保護者へ向けてタブレット対応型「のっティスタンド」の配布を行いました。

「のっティスタンド」は、メディア機器利用に関するルール作りを目的とし、置き場所を含めご家庭で話し合いながら作っていただくことをお勧めしています。

子どもが使うメディア機器は保護者の適切な管理が求められます。ルールを守ることの大切さを教えるとともに、問題が起る前にペアレンタルコントロール（保護者による使用制限）設定やフィルタ



リングなどの機能を活用して子どもたちを守り、健やかに育ていきましょう。

## ネットモラルを呼びかける標語ポスター

### ○「ネットモラル標語ポスター」の掲示

市民会議ではネットモラルの啓発を目的に標語ポスターを作成しています。市内の中学生がネットの問題について、感じたことを標語とし、その中から選ばしたものを採用しています。

このポスターは夏期と冬期の学校の長期休みに合わせ市内の学校や各町内会、公共施設などで掲示されました。



野々市市 PTA 連合会では市内の小中学校の保護者を対象に「情報端末の利用と管理に関するアンケート」を毎年実施しております。その主な集計結果として、年齢層が上がるごとに情報端末の1日の利用時間が増加する傾向が明らかになりました。今後は市民会議と連携して、市内の児童・生徒の情報モラル教育の促進に努めてまいります。



野々市市 PTA 連合会  
のブログ (QR コード)

# 「デジタル・シティズンシップ教育」の推進

## ～学校教育課～

### ○デジタル・シティズンシップ教育とは

インターネットが社会インフラの一つになっているという事実を前提として、市民（シティズン）としてどう生きていくべきかを考えさせ、責任あるICTの使い方と社会貢献の仕方を、小・中学校の段階から、系統的に学ばせようというものです。

ICT教育が進んでいる欧米諸国では、主流になりつつありますが、日本でも令和四年度から、高等学校で「現代社会」に代わる必修科目として「公共」が開始されることもあり、すでに先進的な取り組みを始める自治体も現れています。

### ○「GIGAスクール構想」との関連について

令和三年度は、児童生徒に配備された一人一台のタブレット端末の活用が進みました。その目的は「情報活用能力の育成」であり、子どもたちに安心・安全な端末の使い方の指導や、いじめの未然防止等につながる「情報モラル教育」の充実が求められます。

### ○「情報モラル教育」との違いについて

従来の情報モラル教育は、一斉講義で負の側面を伝えて警鐘を鳴らし、「させない、触れない」という、抑制を促す指導が主流であり、ICT教育を普及させるための理念が不足しているという指摘もありました。

一方、デジタル・シティズンシップは、未来の市民として、自分が生活する集団や地域を良くする方法を、当事者意識を持ちながら、デジタル社会において必要不可欠な資質・能力を育成することを目的にしていることから、「SDGs」や一人一台端末を活用した「協働的な学び」、「考え・議論する道徳」といった教育活動と融合しやすくと考えられています。

### ○本市の計画について

本市の小中学校では、令和二年度から全てのクラスで「GIGAびらき」と称したガイダンス授業を実施し、基本操作の確認と「ののGIGA宣言」を用いたモラル指導により、デジタル・シティズンシップの素地を形成しています。

令和四年度は、これまで本市で実施してきた「ネット対策教室」や「携帯電話を持たさない運動」との融合も図りながら、より系統的な学習機会を設けることで、その拡充を図っていきます。

### ○大学と連携したモデル授業について

令和四年二月には、金沢工業大学「セキュリティプロジェクト」と連携し、市内中学校において、担任がリモート参加の大学生と協力して、一人一台端末を活用したモデル授業を実施し、中学生の理解を深めることができました。



### 『ののいちGIGAスクール宣言』（ののGIGA宣言）

私たちは、タブレット端末を利用するときに、次の4つを守ります。

- 一． 学びを深め、学校生活を豊かにするために活用します。
- 一． 人が嫌がることや、人を傷つけることはしません。
- 一． 卒業まで使い続けられるように、丁寧な取扱いをします。
- 一． 姿勢と眼に気をつけながら、自分の健康を守ります。



## 令和3年度 市民会議活動日誌

- 4月1日(木) 愛と和ののいち5万人あいさつ運動推進ポスターの掲示(春期)
  - 5月11日(火) 愛と和ののいち5万人あいさつ運動のつていスタンド配布
  - 7月1日(木) ネットモラル標語ポスターの掲示(夏期)
  - 8月30日(月) 愛と和ののいち5万人あいさつ運動
  - 9月22日(水) 愛と和ののいち5万人あいさつ運動
  - 10月1日(金) 愛と和ののいち5万人あいさつ運動推進ポスターの掲示(秋期)
  - 11月16日(火) 愛と和ののいち5万人あいさつ運動
  - 1月1日(土) ネットモラル標語ポスターの掲示(冬期)
- その他  
役員会・常任委員会(年4回)  
環境浄化活動・非行防止活動・メディア対策事業・啓発活動

### 令和4年度 行事予定 愛と和ののいち5万人あいさつ運動

- 【街頭呼びかけ】5月10日(火)
- 【第1期】5月10日(火)～5月16日(月)
- 【第2期】7月1日(金)～7月7日(木)
- 【第3期】8月30日(火)～9月5日(月)
- 【第4期】9月21日(水)～9月27日(火)
- 【第5期】11月15日(火)～11月21日(月)

### 子どもと大人のまちぐるみ清掃

7月3日(日) 午前中  
※実施場所・時間は町内会毎に決定します

### 青少年育成研修会

7月16日(土)  
野々市市文化会館フォルテ大ホール



“ののいちっ子を育てる” 市民会議  
石川県野々市市三納一丁目1番地 野々市市教育委員会生涯学習課内  
TEL 076-227-6117 FAX 076-227-6258  
HP <http://sodateru.nono1.jp>  
メール [sodateru.nono1@city.nonoichi.ishikawa.jp](mailto:sodateru.nono1@city.nonoichi.ishikawa.jp)